

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 29 年 5 月 29 日現在

機関番号：14301

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2014～2016

課題番号：26330382

研究課題名(和文) インドシナ3国逐次刊行物データベースによる機関横断型ネットワーク構築の研究

研究課題名(英文) Research on cross-institutional network construction by periodical database in three Indochina countries

研究代表者

大野 美紀子 (ONO, Mikiko)

京都大学・東南アジア地域研究研究所・助教

研究者番号：80406701

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,600,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は、日本及びインドシナ3国 - ベトナム、ラオス、カンボジア - の逐次刊行物資料情報を統合・共有化するプラットフォームを形成し、東南アジア地域研究において逐次刊行物資料情報を活用した新たな東南アジア地域の研究展開を目的とした。研究成果として、下記の3点が挙げられる。

東南アジア逐次刊行物統合目録データベース(インドシナ3国版)のデータ整備、多言語(ベトナム語、ラオ語、カンボジア語)による簡易データベースの汎用プロトモデル構築、日本及びインドシナ3国内東南アジア研究拠点図書館間における機関横断型逐次刊行物資料情報共有ネットワークの構築

研究成果の概要(英文)：Serial publication, such as newspapers and magazines are valuable materials that reflect each nation's society. This project for cooperation between library staffs and researchers of Japan and Indochina countries beyond the boundary of institutions and countries, is aimed at constructing the system of shared information, centering on the comprehensive bibliography for the Southeast Asian Periodicals Database. We have promoted our cooperation with institutions of Indochina e countries. We have carried out the following objectives ; 1. Update bibliographical data on the Southeast Asian Periodical DB, 2. Construct the Periodical DB in Indochina ver., 3. Establish cross-institutional network among libraries.

研究分野：図書館情報学

キーワード：インドシナ データベース 逐次刊行物 図書館ネットワーク

1. 研究開始当初の背景

(1) 東南アジア逐次刊行物統合目録データベース(インドシナ3国版)のデータ整備
ベトナム、ラオス、カンボジア(インドシナ3国と総称)社会研究において、逐次刊行物(雑誌、新聞、官報、統計等)は貴重な研究資源であり、逐次刊行物に関する情報それ自体(出版動向、部数など)もまた、対象社会の長期的な変化を克明に反映する一次資料となる。しかし、逐次刊行物は長期にわたって刊行されるため、多種類・多巻の膨大な集積となり、個人や一機関が収集・所蔵する限界を超える。そこで、公的機関である図書館が利用者に対してこれら逐次刊行資料へのアクセスを保障する責務がある。インドシナ3国における資料アクセス環境は、昨今の図書館インフラの充実とインターネット環境の拡大により、2000年以降格段に向上している。しかし、図書館情報システムの整備はようやく着手されたばかりという段階にある。各国とも、我が国でいう国立情報学研究所(NII)に類する機関やネットワークをもたず、書誌・所蔵情報を掲載した網羅的な目録も(冊子体・電子データのいずれの体裁でも)整備されていない。このため資料情報の共有については、研究者間の個人的ネットワークによる情報交換と研究者個人の資料発掘・収集に依っているのが現状である。本研究では、日本およびインドシナ3国の機関が提供するデータを用いて書誌・所蔵情報を補強する。また、歴史的経緯から、ベトナム国内研究機関・図書館にはラオス、カンボジアを含む相当数の逐次刊行物資料が集約されていることから、これらの書誌情報を集約・整備することによって、日本とインドシナ3国に所蔵されている逐次刊行物の機関所在と正確な書誌情報が利用可能となり、また長期にわたる逐次刊行物資料出版状況全体が俯瞰できるようにする。

(2) 多言語簡易データベース(DB)の汎用プロトタイプ構築を核とするインドシナ3国および日本国内の機関横断型逐次刊行物資料情報共有ネットワークの構築

新興国インドシナ3国において、学術研究機関・図書館など大きなインフラ投資を行うことは財政上困難である。そこで、安価かつ汎用性のある技術を土台にしたDBを開発することで、当該国における図書館情報整備事業に貢献する。技術情報は公開し、内外の各機関が導入しやすく、かつ個別事情に応じた仕様に変更・発展させることが容易な可変性のあるプロトタイプを構築する。本課題研究で開発するDBのプロトタイプ版は、現地機関への提供を前提としており、DBへの入力には各機関がすでに持っているデータを可能な限り損なわない形で創意工夫をし、その一方でDBからの表示・出力については世界標準に準拠するというモデルを構築する。本研究の遂行によって、組織的・地理的に離

れている研究者、図書館員と情報技術者が、機関や国を超えてDBを構築・共有し、その発展のために相互連携していくための契機がもたらされることになる。汎用性のあるDB設計に加えて、国内外の東南アジア資料に詳しい図書館員が書誌情報を整備するため、信頼度の高いDBが構築できる。この利点を活かし、東南アジア逐次刊行物プロジェクトのメンバーである国内東南アジア研究拠点図書館と、インドシナ3国図書館の間の連携を構築していく。

2. 研究の目的

日本およびインドシナ3国における、東南アジア逐次刊行物の書誌・所蔵情報を網羅したDBを構築することで、当該諸国の教育・研究ツールとしての資料整備が促進されるのみならず、そのデータ自体が東南アジア地域研究における出版動向の、時系的かつ共時的推移を俯瞰する基礎資料になり得る。本課題研究では、日本とインドシナ3国にこのDBを核とする情報資源共用環境のパイロットモデルを措定し、将来的には他の東南アジア各国の研究機関・図書館等が連携した多言語資料情報の共有化システムを展開していくことをめざす。

3. 研究の方法

本研究では、東南アジア逐次刊行物統合目録データベース(インドシナ3国版)を構築し、それを核として研究者、図書館員と情報技術者による機関横断型ネットワークを形成した。

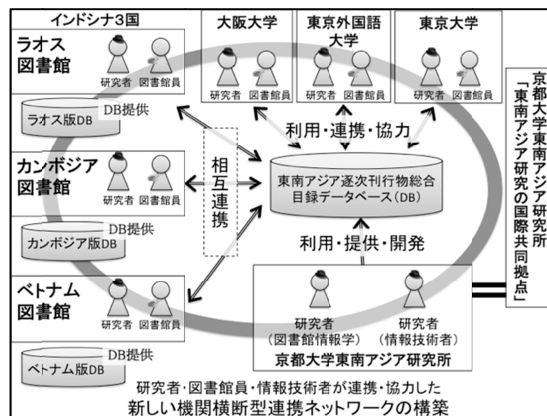


図1 機関横断型ネットワークの形成

現行の東南アジア逐次刊行物総合目録データベースはNII、各機関OPACに依拠した書誌・所蔵情報のみで、創刊・終刊、前継・後継誌の連続性等情報を欠いており、類似書誌情報が混在していた。そのデータ不備を補うために冊子体に掲載されている官報、新聞、統計の書誌情報を追加し、冊子体と現行DBの統合を図った。また、インドシナ3国の研究機関・図書館の中から書誌情報の協力を得て提供された書誌・所蔵情報(現地データ)を集約した。さらに、研究者・図書館員・情報技術者の協働によって、ベトナム語、ラオ

語、カンボジア語書誌情報におけるデータ分析を行い、音標文字検索も含めた DB 仕様策

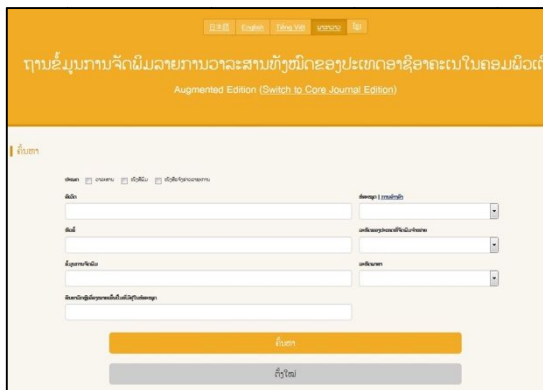


図 2 東南アジア逐次刊行物総合目録 DB

定のための調査研究を行った。

初年度収集したデータの分析結果を基に、DB の仕様策定と開発を行い、その過程において、現地機関と連携・協力しながら必要な調査・実験を行った（収集した冊子体情報の DB インポートや内部的な DB プロトタイプ版のテスト利用等）を行う。さらに、昨今インドシナ 3 国において急速に普及しているモバイル機器へ対応するため、多言語での利用が容易なスマートフォンやタブレット等 (iPad 等) 画面の小さな機器 (ガジェットデバイス) でも手軽に扱えるように、検索画面表示における新たなデザイン (レスポンシブルウェブデザイン) の導入を行った。計画最終年には、当該諸国機関と連携・協力し DB プロトタイプ版の完成と、継続的にデータを入力・蓄積していく作業の連携体制の構築を図った。

4. 研究成果

(1) 逐次刊行物データベース構築

研究開始初年度に、官報・新聞の所蔵・書誌情報を追加し、併せて書誌情報の整備を行った。目録収録数 1027 点 (雑誌 423 点、新聞 461 点) 所蔵数 : 3,127 点にデータ数を増強した。また、データベースのインターフェース仕様についてラオ語・ベトナム語・カンボジア語版を作成し、検索システム等データベース解説の英語版を改訂した。

2 年目に、ベトナム・社会科学通信院 (ハノイ) と社会科学図書館 (ホーチミン市) の 2 機関から所蔵逐次刊行物データ 1,671 点の提供を受けて、それら書誌情報を整備して、初年度整備したコアジャーナル版にベトナム版を追加する形で、逐次刊行物データベース増補版を作成した。その後、招聘した社会科学通信院・院長に増補版を提供し、日・ベトナム間で資料情報を共有した。

3 年目に、ラオス国立図書館、国立農林業研究所資料センター、ラオス国立大学中央図書館の 3 機関から所蔵逐次刊行物の書誌・所蔵情報の提供を受けた。提供されたデータ 83 点について、データベース上で公開すべくデータを整備中である。また、ベトナム社会科

学アカデミー社会科学通信院において、昨年度日本側から提供したインドシナ逐次刊行物データベースが当該機関内で試験的に活用されていることを確認した。また、ラオス側 3 機関については、前年度に引き続き逐次刊行物データベースのデモと技術情報開示を行い、共同研究の賛同を得ると共に、データベース構築の技術上の具体的な課題を検討するためにデータ提供を受けた。

(2) 機関連携ネットワーク構築

初年度にベトナム 3 機関 - 社会科学通信院 (ハノイ市)・社会学院図書室 (ハノイ市)・社会科学図書館 (ホーチミン市) において、データベース構築プロジェクトを説明し、連携協力の了解を得た。さらに当該 3 機関から図書館員・研究者・IT スタッフを招聘し、あらためて逐次刊行物データベース説明と同データベースを各機関で導入する際の操作等を研修する機会を設けた。国内関係機関との連携強化及びデータベース構築実務作業のため、東京・京都で 6 月、11 月、2 月に研究会を開催した。

2 年度に、データ提供を受けたベトナム 2 機関で、データベース利用状況を聴取し、連携協力する上での具体的な課題を検討した。また、ラオスでラオス国立図書館、ラオス国立大学、国立農林業研究所を訪問し本プロジェクトの説明を行った。

Overview of Japanese Scholarly Information Infrastructure				
Southeast Asian Periodicals Database				
	Core Journal Edition	Augmented Edition		
TYPE	Japan <Core Journal>	Vietnam	Laos	Total
MAGAZINE	432	1,597	82	2,111
NEWSPAPER	461	74	-	535
GAZETTE	143	-	-	143
Total	1,035	1,671	82	2,796
Units	Japan <Core Journal>	Vietnam	Laos	Total
Library Information	4,195	1,671	83	5,949
Organization	105	2	3	110

図 3 東南アジア逐次刊行物データ

また、2 月にベトナム・社会科学通信院、ラオス 3 機関、カンボジア王立農業大学から図書館員・IT 技術者など 13 名を日本に招聘し、逐次刊行物データベース導入の詳細について研修する機会を設け、本プロジェクトの参加賛同を得た。

国内関係機関との連携強化及びデータベース構築実務作業のため、東京・京都で 7 月、11 月に研究会を開催した。

3 年度には、国内関係機関との連携強化及びデータベース構築実務作業のため、東京・京都で 8 月、11 月、3 月に研究会を開催した。8 月、3 月の研究会では、より広い協力連携をめざして新たな参加館に呼びかけると共に、データ整備に不可欠なアジア資料目録整備のための多言語目録研究会を立ち上げ、継

統的な目録情報交換の場を構築した。

(3) 研究成果公開発信

初年度に、逐次刊行物データベースプロジェクト内容を公開するため、本研究プロジェクト用 HP、facebook ページを設け、国内のみならずインドネシア、ベトナム、欧米諸国からアクセスされている。

2年度11月京都大学で開催されているアカデミックデイでモバイル機器を利用した多言語入力操作法を公開し、プロジェクトの一般理解に努めた。また、2月に研究成果公開と機関連携ネットワーク拡大のため、国際ワークショップ「東南アジア地域研究情報資源の共有をめざして：いま、ライブラリアンから伝えたいこと」を主催し、国内外の図書館員・図書館情報学研究者延べ110名（東南アジア6カ国、15名）が参加した。

初年度から毎年11月図書館総合展ポスターセッションに参加し、東南アジア逐次刊行物データベース構築に協力する国内外の東南アジア研究拠点図書館と共に、本プロジェクト内容を広く一般社会に向けて情報発信に努めた。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計8件)

大野 美紀子 (2017) 「書評: ヴー・ティ・フン、グエン・ヴァン・ハム、グエン・レ・ニョン著、伊澤亮介訳「ベトナムアーカイブズの成立と展開：阮朝期・フランス植民地期・そして1945年から現在まで」『記録と史料』(27). pp.92-93.(査読無)

ONO Mikiko (2016) 'When a "village" is born: characteristics of the Southern village in the formation process of village settlements.' In Le Thanh Sang, Ono Mikiko, co-editors, Village in Vietnam and Southeast Asia in the process of integration: workshop proceedings. pp.58-73. Nhà xuất bản Khoa học xã hội. (査読無)

矢野 正隆 (2016) 「メディアの保存に関する試論：デジタル・メディアを手掛かりとして」『情報の科学と技術』66(4). pp.160-165. (査読有)

矢野 正隆 (2016) 「ベトナムの神勅：九州国立博物館所蔵資料の概要と基礎データ」『東京大学経済学資料室年報』6. pp.38-60. (査読無)

矢野 正隆 (2015) 「ベトナムの文献を探索する」『漢字文献情報処理研究』15. pp.73-77. (査読有)

矢野 正隆 (2015) 「専門図書館におけるマイクロフィルムの現状」『専門図書館』272. pp.39-42. (査読無)

菊池 陽子 (2015) 「第二次世界大戦期の日本・ラオス関係に関する史資料の所在と研究状況」白石昌也編『第二次世界大戦期のインドシナ・タイ、そして日本・フランスに関する研究蓄積と一次資料の概観 - 研究のさらなる進展を目指して』pp.425-434. 早稲田大学アジア太平洋研究センター (査読有)

KIKUCHI Yoko (2015) "Laos during World War II: Overview of Existing Literature and Related Documents." In Shiraishi Masaya, ed., Indochina, Thailand, Japan and France during World War II: Overview of Existing Literature and Related Documents for the Future Development of Research. pp.425-434. Waseda Institute of Asia-Pacific Studies (査読有)

[学会発表](計4件)

大野 美紀子 「東南アジアにおけるマイクロ資料保存の現況」(資料保存研究会、2016年11月10日、東京大学)

矢野 正隆・大野 美紀子 「ベトナムにおける情報基盤整備の現状と課題」(漢字文献情報処理研究会第17回大会、2014年12月23日、東京大学)

菊池 陽子 「日本の対ラオス関与 - 北部仏印進駐から第二次世界大戦終結まで - 」(International conference "Vietnam-Indochina-Japan relations during the second world war-documents and interpretation"(2015年9月19日、ハノイ社会人文科学大学)

Kitani Kimiya 'Introduction to the concept of creating small-scale database for multilingual books: through Southeast Asian periodical database '(国際ワークショップ「東南アジア地域研究情報資源の共有をめざして」、2016年2月19日、京都大学東南アジア研究所)

[図書](計3件)

大野 美紀子 (3名中2番目) (2016) 岩井美佐紀・大野美紀子・大田省一共著『ベトナム「新経済村」の誕生』神田外語大学出版局. 308p.

大野 美紀子・木谷公哉ほか(2016) 東南アジア逐次刊行物連携ネットワーク編『東

南アジア地域研究情報資源の共有をめざして - いま、ライブラリアンから伝えたいこと - 』京都大学東南アジア研究所. 43p.

Le Thanh Sang, ONO Mikiko co-editors, (2016) Làng xã Việt Nam và Đông Nam Á trong thời kỳ hội nhập : kỷ yếu tọa đàm= Village in Vietnam and Southeast Asia in the period of integration : workshop proceedings. Nhà xuất bản Khoa học xã hội. 258p.

〔産業財産権〕

出願状況 (計 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

取得状況 (計 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕

ホームページ等

ホームページ

東南アジア逐次刊行物総合目録データベース

<http://www.cseas.kyoto-u.ac.jp/databases/sealibdb/>

Facebook ページ

東南アジア逐次刊行物データベース構築研究会

<http://www.facebook.com/sealibdb/>

6. 研究組織

(1) 研究代表者

大野 美紀子 (ONO, Mikiko)
京都大学・東南アジア地域研究研究所
・助教
研究者番号： 80406701

(2) 研究分担者

木谷 公哉 (KITANI, Kimiya)
京都大学・東南アジア地域研究研究所

・助教

研究者番号： 50324687

矢野 正隆 (YANO, Masataka)

東京大学・大学院経済学研究科・助教

研究者番号： 80447375

岩月 純一 (IWATSUKI, Junichi)

東京大学・大学院総合文化研究科・准教授

研究者番号： 80313162

菊池 陽子 (KIKUCHI, Yoko)

東京外国語大学・大学院総合国際学研究院・准教授

研究者番号： 60334447

(3) 連携研究者

()

研究者番号：

(4) 研究協力者

()